

第2回 奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 議 事 録

1. 開催日時 平成19年12月26日（水）10:00～11:30

2. 開催場所 奈良県経済倶楽部 5階会議室

3. 出席者

委員長 飯田 恭敬（京都大学名誉教授）

委員 倉内 文孝（京都大学大学院工学研究科助教）

委員 国土交通省近畿地方整備局道路部長

委員 国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所長

委員 奈良県土木部長

委員 奈良県企画部観光交流局長（代理：観光交流局次長）

委員 奈良県警察本部交通部長（代理：交通部参事官）

委員 奈良警察署長（代理：地域官）

委員 奈良市副市長

委員 奈良市観光協会長

事務局 国土交通省近畿地方整備局奈良国道事務所 奈良県土木部道路建設課

4. 議 事

◆ 委員に京都大学の倉内先生を追加することについて了承されました。

◆ 事務局より、奈良市内における観光交通実態と課題、交通処理計画の事例等について、以下の説明がありました。

- ・ 奈良公園ブロックに世界遺産が集中していることもあり、来訪者の多くは、奈良公園ブロックに集中し、渋滞が発生している。
- ・ 奈良公園ブロックへの来訪者は、大宮通りを利用する方が圧倒的に多く、次いで国道24号、国道169号に集中している。
- ・ 観光客は目的地に最も近い駐車場を選択する傾向が見られ、特に、春日大社駐車場を頭に渋滞が発生している。
- ・ パーク・アンド・ライドは、利用者には非常に好評であるが、利用台数は低迷している。
- ・ 他の世界遺産地域等における交通処理施策の事例研究について情報

収集した内容を説明。

○その後の審議の中で、以下の点について意見が出ました。

- ・ 交通実態調査では、主に観光シーズンの特異日に絞って調査を行っているが、観光シーズン以外の平常時の平日・休日等の調査も実施し、データの比較検討を行う。
 - ・ 交通対策は、場所・季節・曜日・時間帯等を考慮して対応を検討する必要があることから、既存のデータについて詳細な整理を検討する。
 - ・ 奈良中心市街地の交通対策については、観光交通のみでなく、日常交通への影響も考慮する必要があることから、関係機関の連携協力を得て、市民を含めた多方面の方々の利用状況や意向等を把握する方策について検討する。
 - ・ 奈良中心市街地の渋滞対策の方向性として、渋滞を抑制するだけでなく、地域内の移動性を高めるような施策を検討する。
- ◆ 次回委員会では、今回の委員会の意見を踏まえ、奈良中心市街地の観光交通実態と、他の世界遺産地域における交通処理施策の事例収集内容を考慮し、さらなる、施策の充実に向けた検討を進めるとともに、奈良中心市街地への適用性も踏まえた具体的な施策メニューの提案に向けた議論を進めていくこととなりました。

以 上